

会 議 録

会議名	令和7年度 第1回佐久市環境審議会
事務局	環境部 環境政策課 環境政策係
開催日時	令和8年2月5日(木) 13時30分～15時15分
開催場所	佐久市役所議会棟 全員協議会室
出席者	<p>【委員】 平林 公男委員、小宮山 尚明委員、麻生 知子委員、 辻 明子委員、吉田 寧裕委員、宮原 則子委員、 廣澤 三和子委員、糊澤 静枝委員、坂川 和志委員、 小島 和夫委員、渡辺 晃一委員、安原 茜委員、 井出 時子委員、木内 朋華委員、鈴木 智子委員、 山浦 孝委員、上田 耕佑委員、津吹 玲委員、 丸林 弥栄子委員</p> <p style="text-align: right;">(19名/20名出席)</p> <p>【事務局】 清水環境部長、井上環境政策課長、 環境政策課 環境政策係 百瀬係長、眞山主任、松田主事、伊藤主任 環境保全係 栗山係長 生活環境課 環境衛生係 上原係長、小山主任</p>
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委員自己紹介 3 会長及び副会長の選出 4 会議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 佐久市環境基本条例及び佐久市環境審議会の概要について (2) 第三次佐久市環境基本計画の策定について (3) 令和7年版佐久市環境白書について 5 その他 6 閉会

	<p><u>1 開会</u></p> <p><u>2 委員自己紹介</u></p> <p><u>3 会長及び副会長の選出</u></p> <p>会長：平林 公男委員、副会長：麻生 知子委員</p> <p><u>4 審議事項</u></p> <p>(1) ～ (3) 事務局一括説明</p> <p><u>(1) 佐久市環境基本条例及び佐久市環境審議会の概要について</u></p> <p>事務局 《資料1「佐久市環境基本条例及び佐久市環境審議会の概要」について説明》</p> <p><u>(2) 第三次佐久市環境基本計画の策定について</u></p> <p>事務局 《資料2「第三次佐久市環境基本計画の策定について」について説明》</p> <p><u>(3) 令和7年版佐久市環境白書について</u></p> <p>事務局 《資料3「令和7年版佐久市環境白書【概要版】」について説明》</p> <p>会議開催前に委員へ会議資料を配布 →委員より事前に提出された意見に対して、別紙のとおり回答</p> <p>委員 資料2 第三次佐久市環境基本計画の今後のスケジュールにおいて、学生ワークショップを検討するにあたり、自身の経験上、ワークショップの開催に携わることがあるが、学生との信頼関係が醸成されない状況で実施した場合は意見を出さない生徒も多いので、開催方法を検討いただきたい。</p> <p>委員 第二次佐久市環境基本計画（改訂版）で掲げられている目標値は実現可能な範囲で設定されているが、長野県が策定している「長野県ゼロカーボン戦略」では2010年度比で60%削減と野心的な数字を設定している。第三次佐久市環境基本計画でも挑戦的な数字を設定していただきたい。</p> <p>委員 佐久市環境基本計画に掲げられている目標値を達成した際には、自然に達成されてしまうことがないように分析を必ず行って要因を把握することが重要。要因分析を行うことで、現行計画の詳細な棚卸となり、我々も</p>
--	---

	それを拝見して第三次佐久市環境基本計画の策定に向けて知見を高めていくことができる。
平林会長	第三次佐久市環境基本計画の目標を設定するにあたって、分析した結果が一つの指標となるので、策定を行う際の考え方とすること。
委員	資料2 第三次佐久市環境基本計画のスケジュールに組み込まれているワークショップの対象となる学生の中で、大学生のモチベーションは比較的高い。しかし、計画策定時のみの実施では“点”となってしまうので、継続的に続けていく取り組みを行うことができないか。
平林会長	長期的に行う中で集積したものがデータとして活用できるという指摘であるので、今後の検討とすること。
委員	所属している組合に参加する企業が持つ太陽光発電設備の発電容量を合計すると3.5MWあり、これまでのCO2削減量を調べたところ3万5千tとのこと。これがどの程度寄与したのか、規模感を知りたいと思うとともに、効果について検証をいただきたい。
事務局	削減した量を（見た人が）イメージできるような形でお伝えできるように、内容について工夫できるか検討していく。
委員	事前に委員から提出された意見を会議開催日までに委員にも共有したうえで当日を望む方が有意義な会議になると感じる。（セキュリティー等の）諸課題はあると思うが、今後の運営において議論が活発となる方法を検討いただきたい。
委員	環境活動へのモチベーションが上がる目的で、環境基本計画の冒頭に取り組みを行う市民へ労いの言葉を記載するがよいのでは。別の市の計画で策定に携わった際に、市民・事業者・行政の役割をより具体的に記載を行った。佐久市においても、策定を行う際にはそれぞれの役割を具体的な記載を行うようにしてもらいたい。
委員	会議時間の制約等、進行の関係上、会議の場で発言することができなかった意見を提出する場を設けてもらいたい。一例として、会議終了後1週間等を目安に事務局へメールで提出することを想定。
事務局	今回より期限設定による意見提出の機会をつくる。
委員	第三次佐久市環境基本計画の策定にあたって、市民からの意見聴取を無作為抽出によるアンケートやワークショップとしているが、主体となる市民がより“自分ごと”として捉えられるように、市民対象のワークショップ、オンラインアンケート等広い範囲で徴収できる方法を検討してもらいたい。
委員	第二次佐久市環境基本計画（改訂版）の基本目標V 環境保全活動の拡大の中で活用する媒体としてSNSを挙げている。若年層の行動心理にも影響を与える有効なツールと考えている。
事務局	佐久市では公式LINE等をはじめとした公式のSNSアカウントを活用し

て、情報発信を行っている。
今後より多くの意見をいただける環境を作っていきたい。

5 その他

事務局

次回の審議会は、第三次佐久市環境基本計画のスケジュール等について審議する予定。開催時期は令和8年夏頃予定。

6 閉会

(終わり)